

2023年4月13日

日本ストライカー、国内規格・製造の手術用医療機器 ジェットイリゲーション対応バイポーラフォーセップス「Luan」の発売を開始

日本ストライカー株式会社(本社:東京都文京区)は、主に脳外科手術で使用されるジェットイリゲーション対応のバイポーラフォーセップス「Luan(ルアン)」を福井県鯖江市の株式会社シャルマンと共同で企画・開発し、2023年4月から全国での販売を開始する。日本の臨床現場のニーズに対応するため、日本の精密な“ものづくり”技術を取り入れた日本企画の医療機器で、今後は海外への展開も検討する。

バイポーラフォーセップスとは、両極間に流れる電流を用いて生体組織の凝固や切開を行うためのピンセットタイプの鑷子(せっし)で、様々な手術で用いられている。特に日本における脳外科手術においては、微細な血管の適切な位置で止血することが求められるため、生理食塩水で出血箇所を洗い流す“ジェットイリゲーション機能”を有したバイポーラフォーセップスへの高いニーズが存在している。

このたび発売する「Luan」は、現行製品である単回使用のバイポーラフォーセップス「Spetzler-Malis(スペッツラー マリス)」を土台に、シャルマンの金属精密加工技術と、ストライカーの医療機器開発のノウハウを活かして新たに“ジェットイリゲーション機能”を付加した共同開発製品。脳外科医の助言を取り入れ、片側先端部分から放出される繊細な水流がピンポイントで患部に到達して出血点を特定し、スムーズな止血処理に寄与する。

欧米をはじめとする海外では、“ジェットイリゲーション機能”に対応するバイポーラフォーセップスは普及しておらず、止血点を洗浄するためにはバイポーラフォーセップスとは別の送水管を用いることが一般的。日本のものづくり技術を活かし繊細な水量調整機能をもつ「Luan」は、微細な止血処理が求められる脳血管手術に役立つ製品であり海外の潜在的な臨床ニーズにも応える製品として今後海外への展開も検討していくとしている。